若者の地方体験交流　募集概要

（費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください）

No.－４２：熊本県宇城市豊野町（町：約4,700人　宇城市：約62,000人）

（１）最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町：
ＪＲ鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約４０分～５０分
最寄りのＪＲ鹿児島線 松橋駅（熊本駅～松橋駅：約１５分）からタクシーで約１５分

（２）事業実施の目的等

１．若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。
２．地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する。
３．事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

（３）体験の内容

・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加
（タケノコ堀り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験）
子どもたちと一緒に、竹切りから、小刀を持っての加工も行います。
・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義
・移住者の経験や「外からの目」を活かした地域活性化のためのワークショップ参加

（４）受入主体　　（５）受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①３月下旬～４月上旬：タケノコ掘り（１泊２日） ②７月下旬～８月上旬：ソーメン流し、竹箸作り（１泊２日） ③１２月下旬：餅つき体験、ミニ門松作り体験（１泊２日）

（６）応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：原則無料（布団レンタル代金が必要となる場合があります。） 食事代：　自己負担（料理体験等の費用。）
①要　　件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①平成２６年３月中旬 ②平成２６年７月中旬 ③平成２６年１２月中旬 （特に締切は設けないが、開催日を確定するため２週間程度前には要連絡）
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町　「光照寺」（寺泊になります）
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤そ の 他	

（７）地域担当者から一言

「うきのわ（宇城の“輪”）」は、震災後移住して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり昨年２月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第２の故郷として地元に根付いてもらう活動を続けて来ました。昨年は、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のＡＬＴの先生や海外からの留学生等も呼んでの国際交流体験も一緒に行っています。空き家改修補助金や移住助成金だけではない、地域住民が主体となった移住・交流に向けた取組を、ぜひ体験してください。

（８）お問合せ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部　定住促進課　定住促進係
（ふりがな）ちばさき　すすむ 担当者氏名　千葉崎　達	TEL：0964-32-1906（直通） FAX：0964-32-2222
E-mail：chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL：http://www.city.uki.kumamoto.jp/　（宇城市役所） ja-jp.facebook.com/pages/うきのわ/403718689724495　（うきのわ）	
応募宛先　〒869－0592 熊本県宇城市松橋町大野８５　宇城市役所 企画部 定住促進課	